

立山山スキー報告 (2019 年 5/11~5/12)

【山城】北アルプス・立山

【日程と天候】2019 年 5 月 11 日~12 日 2 日間とも快晴

【メンバー】CL 菊池・瀧瀬・井上（里）・会員外 4 名

【行程】

11 日：千葉ー扇沢ー室堂ー室堂山荘（新潟組と合流）ー浄土山北東斜面 2700mー祓堂ー一ノ越ー東一ノ越ーたんぼ平ー大観峰駅ー室堂ー室堂山荘（泊）

12 日：室堂山荘ー浄土山 2640mー北斜面滑走ー称名川源頭部ー山崎カール 2700mー雷鳥平ーブル道ー室堂山荘ー扇沢駅ー帰葉

健脚組：室堂山荘ー一ノ越ー雄山山頂ー山崎カール滑走ー室堂山荘



- ・GW 以降の立山山スキーは 3 回目です。この数年、11 月の初滑りは雪不足や不安定な天気などでコスパが悪い傾向にあり、今期は中止とし、GW 以降に照準を合わせた。好天に恵まれた 2 日間、7:30 前扇沢の無料駐車場は既に満杯、一段上部の有料（1000 円/日）に駐車、最上部は 2000 円であった。8:00（始発は 7:30 とのこと）のバスに乗ったが、

外国人観光客（特に台湾人が多いようだ）が続々訪れていた。山スキーヤー・ボーダーは始発に乗車した方々が多いようで、11月の初滑りに比べるとごく少なく一握りである。黒部ダムの上を歩く足取りは軽やかであったが、その後のケーブル・ロープウェイなどに乗車するために階段の登り降りが重荷で足にこたえた。最年少のSAさんは車の中で、たんぼ平と雄山頂上から山崎カールを滑りたいと話していた。黒部平駅からたんぼ平を見るとこんな感じで上部がよさそうであるが、下部は縦溝がびっしりであった。



・室堂駅には10:00少し前に到着、観光客でごったがえす室堂駅、長い階段をへとへとになって登り戸外に出ると、いつもの大迫力のグレイトビューが待っていた。今回の参加メンバーは7名、新潟組と室堂山荘で10:30頃合流、不要な荷物を預けてツアーにスタートした。前日までに少し降雪があったようで浄土山北面斜面には綺麗なシュプールが刻まれている。残雪はたっぷり、この日の雪の大谷は16mとのこと。一ノ越に向かう浄土山急斜面のトラバース、雄山社務所直下の西ルンゼにシュプールとスキークットによる表層雪崩跡が見える。2007年の初滑りの際、好条件で精鋭4名がこのルンゼを滑走できたことが思い出される。当時（58才）は元気であったなあと感慨深い。



11月の初滑りの頃は、パウダーのファーストトラックを狙い、いつも最初に向かう浄土

山の北東の斜面（カール）に向かった。小生は今回、立山山スキーとしては初めて AT で



訪れた。雄山・西ルンゼをバックに記念撮影してもらった。西ルンゼを滑った時にはもちろん TM、ルンゼへのエントリー部分の上部がガリガリ気味で右に巻いてルンゼに飛び込



んだ。やや重のディープパウダーであったが、テレターンを楽しむことができた。この時 AT で同行した四国の OK さんはその後 TM に転向、当時はわが会にテレマーク旋風が吹き荒れ、テレマーカーがかなり増加したのである。今期小生は TM8/AT2 の比率で両刀使いであるが、来期はファットテレで立山初滑りに来たいと早くも思いを馳せている。祓堂に向け



での標高差 150m ほどの滑走、初めは湿新雪が残っていたが、ザラメエリアも多くまあまあ感触です。上越からの NK さんは格好良いテレターンを決めています。

- たんぼ平を滑走すべく 2705m の一ノ越に登り上げ、龍王岳をバックにスタート前の記念撮影です。小生は GW に御山谷ルートで黒部湖畔まで滑りこんだことはありますが、たんぼ平は初体験です。同行の宇都宮の IG さんが 2 週間ほど前に、たんぼ平ルートを滑走しておりガイド役として助かりました。たんぼ平のエントリーポイントは標高 2480m の東一ノ越です。しばらくは快適な滑走ですが、徐々にトラバースしながら夏道方向に移行します。雪が切れている地点



からいよいよスキーをザックに付けての歩きです。ハイ松を跨ぐ部分もあり、踏み抜きもあり慎重にゆっくり進みます。



龍王岳からの表層雪崩やカールのシュプールが見え滑走意欲がそそられている若手メンバーもいます。斜度が30度以上あろうかという急斜面のトラバース、振り返るとぎょっとしますが、雪が緩んでおりトレースがしっかりしているのでツボ足で慎重に進めば問題ありません。とはいえ2度と来たくないトラバースですね。



・ようやく東一ノ越の平坦地に到着し寛ぎます。龍王のカールにシュプールを刻んだスキーヤーとボーダーの二人が御山谷から急斜面を登り上げて到着しており、しばし談笑しました。いよいよ待望のたんぼ平へのエントリーです。シャッターを切って頂き、記念撮影しました。雄山をバックにもう一枚、笑顔が緊張でひき



つっているようです。何しろ 35 度を超えるような急斜面へのエントリーですもの。



雪面は緩んでいるがやや荒れており、慎重に大回りターンで高度を下げていく。積極的にフィールラインを狙って攻めていく IT さん。



朝のロープウェイからは無かったように思えたが、その後に発生したか、表層雪崩のデブリが方々に見られる。IT さん TA さんの積極的な滑り、広大なカールをわが P が独り占め、雄山の岩峰をバックに、これぞ北アルプス山岳スキーの醍醐味ですね！！逆光の中、NA さんのテレマークが光っています。小生も、老体に鞭打ち AT で攻めていきます





が、どうも若い頃のようなキレはありません。ロープウェイ上駅の大観峰駅が見えますが、デブリを縫ってトラバース滑走します。ロープウェイの中から手を振っているお客さんがいます。こちらも手を振って応えました。終盤は縦溝と凸凹との格闘でした。東一の越 2480m か



ら 1802m まで標高差 680m の大滑走を終え、満足の日目でした。
夕食後のこの景色を見てしまうと、また来年も来たくくなりますね！！



・2 日目も快晴、健脚組は雄山山頂から山崎カール滑走を目指したが、立山山スキー初体験の女性 2 人を含む軟弱組は、まず浄土山の 2640m 地点の平坦地まで登り上げ北面を称



名川源頭部 (2320m) まで滑走し、山崎カールに登り上げることとしてスタートし



た。気温は 3~4℃であるが、朝の雪面はまだ固くガリガリの部分もありクトーを装着して浄土山のエントリーポイントに到着した。中急斜面の滑走ラインは雪面が緩んでおり一安心、一ノ越へのトラバーストレースの下部は、ノートラの素晴らしいザラメ滑走、今回のツアーピカイチの快適滑走を堪能できた。称名側源頭部から登り上げる山崎カールに向かう斜面はこんな感じで点発生雪崩跡が見られた。山崎カールへの登り上げは結構辛い。山崎カールの全容が見える台地への急斜面は雪面がやや硬くなってきてクトーを装着して出来るだけ傾斜の緩いラインに迂回して登り上げたが、こんな迫力の絵になる登りです。



軟弱組はローソク岩のかなり下の 2700m 位まで登り上げ滑走開始しました。山崎カール初滑走の IN さんの滑りです。TA さんも山崎カール初滑走です。この辺は極上ザラメのご満悦滑走でした。



山崎カール初体験の女性陣お二人、ご満悦ですね。雷鳥平のテント場に向かって 2 日間の締めくくりの気持ち良いクルージングです。



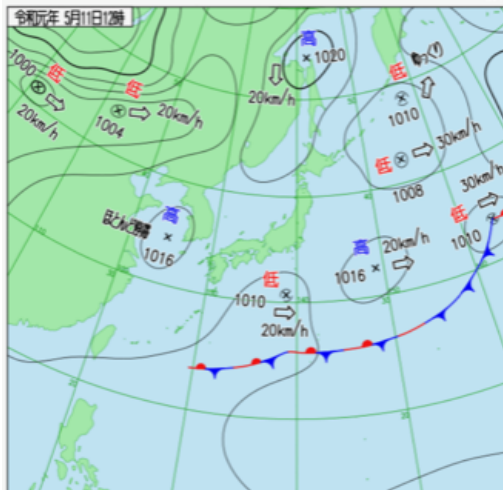
室堂山荘への最後の頑張りはブル道を約 1 時間のハイクアップです。13:15 頃到着、1 本残してあった金麦をロートル 3 人でご褒美の祝杯をあげました。立山万歳！！来期はまた初滑りのパウダーを復活させますか！！

- ・雄山山頂から山崎カールにドロップ組の写真を数枚、山崎カールを覗き込むと、下から登り上げるメンバーが豆粒のように見えました。いよいよ山崎カールにドロップです。少し硬い雪面を慎重に下りました。急斜面を無事滑走、ローソク岩で一休みです。

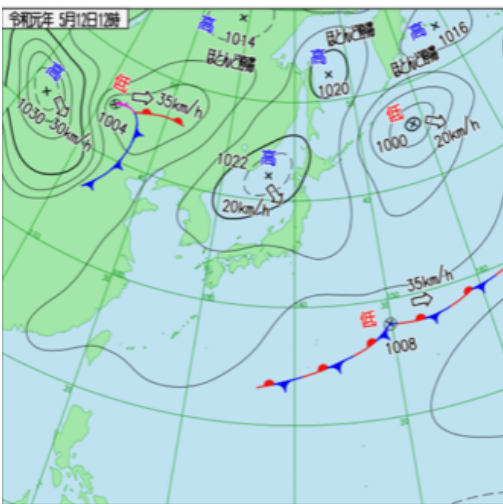




ロープウェイから針ノ木岳、たんぼ平、黒部湖を見ながら楽しかった 2 日間の余韻に浸りました。おわり



20190511 立山BCスキー	
距離	7.5km
記録時間	05:00:03
最低高度	1,802m
最高高度	2,728m
累計高度(+)	448m
累計高度(-)	1,079m
平均速度	1.5km/h
最高速度	35km/h
消費カロリー	1394kcal
座標精度	★★★★★
接続率	0.3%



20190512 立山BCスキー	
距離	6.2km
記録時間	06:06:29
最低高度	2,389m
最高高度	3,003m
累計高度(+)	722m
累計高度(-)	752m
平均速度	1km/h
最高速度	34km/h
消費カロリー	1746kcal
座標精度	★★★★★
接続率	1.1%

